

令和元年度9月議会の補正予算について（一般会計補正予算（第4号）関係）

補正予算

一般会計

市長の現地視察による各地域の聴き取り調査の結果に基づき、道路修繕、河川維持補修等に要する費用を計上するほか、大津市で発生した交通死亡事故等を受け、園児、児童・生徒の安全対策に要する費用、本年7月の豪雨に起因した河川の護岸等の損傷についての復旧に係る費用、RPA導入に関して、対象事業の本格稼働等を行う費用及び本年10月より開始する幼児教育・保育の無償化に伴う費用や財源更正などを計上する。

補正額 4億 1,436.0万円 補正後予算額 514億 2,763.9万円

補正予算の主な事業

市民満足度向上事業費（アセットマネジメント課 等） 計 2,975.0万円

- ・市長現地視察による各自治会聴き取り調査の結果に基づき、道路修繕、河川維持補修等に要する費用を計上する。

1 命を守ることが最優先

1 通学路等緊急安全対策事業費（アセットマネジメント課 等） 計 4,629.6万円

- ・大津市で発生した交通死亡事故等を受け、園児、児童・生徒の安全対策に要する費用を計上する。

2 河川施設災害復旧費（土木課） 1,210.0万円

- ・本年7月の豪雨に起因した河川の護岸等の損傷についての復旧に係る費用を計上する。

3 安全対策事業費（土木課） 2,110.0万円

- ・踏切道改良促進法に基づき指定された踏切道について、安全性を確保するため、踏切道の一部を改良し、歩道を設置するための費用を計上する。

4 河川改良事業費（土木課） 1,200.0万円

- ・6月に発生した、宇路田川の擁壁が壊れ水路を塞ぐ事故を受け、同様の事故を未然に防ぐため、近隣に新規水路壁を設置するための費用を計上する。

- 5 特殊詐欺根絶関係啓発費（環境安全課） 34.9万円**
 ・桑名市特殊詐欺根絶条例の制定に伴い、特殊詐欺に対し、広く市民へ啓発を行うための費用を計上する。
- 6 ため池等整備事業調査費（農林水産課） 70.0万円**
 ・防災重点ため池の再設定に伴い、自然災害により被害を及ぼす恐れのあるため池について、浸水想定区域の調査を行うための費用を計上する。
- 7 木造住宅耐震事業費（都市整備課） 150.0万円**
 ・昭和56年5月以前に建築され、耐震性がないと判断された木造住宅の除却補助について、増額費用を計上する。
- 8 貸与被服費等（消防本部総務課） 計269.8万円**
 ・令和2年度新規採用予定者数の変更（7名から12名）に伴い5名分の貸与被服及び防火衣一式の購入経費を計上する。
- 9 広域避難計画策定事業費（防災・危機管理課） 352.9万円**
 ・南海トラフ地震防災対策推進基本計画において、地域住民などの避難行動に関し、避難対象地域別の避難場所、避難経路などについて明示することが求められたことから、避難行動に関するアンケート調査を実施し、市域内での広域避難計画の基礎資料を作成するための費用を計上する。

2 子どもを3人育てられるまち

- 1 幼児教育・保育無償化関連事業費（子ども未来課等） 計2億4,714.2万円**
 ・本年10月に開始する幼児教育・保育無償化制度に関連して、制度開始に伴って必要となる費用を計上する。（私立幼稚園就園奨励費補助金の減額分も含む）
- 2 児童扶養手当給付金（子ども未来課） 150.5万円**
 ・児童扶養手当受給者のうち、未婚のひとり親に対し17,500円の給付を行うための費用を計上する。

3 地理的優位性を活かした元気なまち

- 1 桑名駅周辺施設整備事業費（駅周辺整備課） 968.0万円**
 ・桑名駅周辺複合施設等整備事業者提案の内容如何に関わらず、桑名駅自由通路供用時に必要とする最低限の広場機能を整備するため、桑名駅東口駅前広場の測量及び実施設計を行うための費用を計上する。

4 納税者の視点で次の世代に責任ある財政に

1 AI等活用推進事業費（まちづくり推進課）

426.6万円

- ・RPA 導入に関して、昨年度、3 事業の実証実験の効果が認められたので、今年度は3 事業を本格稼働し、さらに対象事業を拡大するとともに、RPA 活用推進のため職員対象の研修を行うための費用を計上する。